

1. こんな症状ありませんか？

慢性的な頭痛や繰り返し発生する頭痛、頭が締め付けられる様な痛み、片側の目の周りに集中する激しい痛みなど。頭痛のため、仕事などの日常生活に支障をきたしている。

※緊急を要する頭痛等の場合は、高度急性期病院へ紹介となる場合もあります

2. 頻度の高い頭痛の種類と原因

【頭がズキズキと強く痛む片頭痛】

片頭痛は、脈を打つようにズキンズキンと痛み、動くと悪化するのが特徴です。

強い吐き気を覚え、おう吐をしてしまうなど、日常生活に影響が出ます。

頭痛が起こる前兆のある人もいます。

片頭痛の持続時間は 4～72 時間とさまざまで、個人やその人の状況によって異なります。

【最も多い緊張型頭痛】

日本に約 2000 万人いると推計されている「緊張型頭痛」は、頭から首、背中にかけての筋肉のコリや張りによって、痛みを感じる神経が刺激されることで痛みが起こると考えられています。

緊張型頭痛の原因の多くは、生活習慣が関係しています。デスクワークや車の運転などでうつむいた姿勢をとっているときに要注意です。長時間同じ姿勢でいることから、夕方や仕事の終わり頃に頭痛が起こりがちです。

【目の奥が激しく痛む群発頭痛】

群発頭痛とは、頭の片側だけに目の奥の辺りの激痛が起こるほか、目の充血、涙や鼻水が止まらないなどの症状を伴う頭痛です。20～40 歳代に多く、とりわけ男性に多いことも特徴の一つです。

なお、激しい頭痛はくも膜下出血や脳髄炎、脳腫瘍などの重大な病気が疑われる場合があるため、注意が必要です。

【薬剤の使用過多による頭痛】

上記の様な頭痛に対して、屯用の鎮痛薬を頻回に使用すると「薬剤の使用過多による頭痛」という難治性頭痛に移行する恐れがあります。そのため、早めの頭痛診断と適切な治療を受ける事が大切です。

3. どんな治療するの？

【片頭痛】

治療の中心は薬物療法となります。屯用の内服薬だけでなく、程度によっては頭痛の予防薬の内服や皮下注射を行います。

【緊張性頭痛】

生活習慣の見直し、屯用の内服薬、予防薬の内服を行います。

【群発頭痛】

痛みを抑える自己注射や酸素吸入、予防薬の内服で症状を改善します。

※いずれの頭痛でも、必要に応じて、CT 検査 MRI 検査を実施します

上記の様な症状のある方は、ぜひ頭痛外来を受診してください。

脳神経内科の医師が診察します。

※頭痛外来は予約制です

栄光病院代表番号(092-935-0147)へ電話し、「頭痛外来受診希望です」とお伝え下さい

担当者が対応します

<平日の 13:30～16:30 の時間でご連絡ください>